

のぞえおおつじ  
**野添大辻遺跡（第2次）**

所在地：度会郡大紀町野添（わたらいぐんたいきちょうのぞえ）

位置情報URL：<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=256&l1=34.417370370370364,136.49207062146894>

**戦国時代の井戸（2）**

野添大辻遺跡の第2次発掘調査も無事終了することができました。最後は、井戸を本格的に掘り下げました。井戸は狭く深いため、作業は土砂の崩落など危険をとまいません。そのため、重機を使い掘削をしていきました。



まず、井戸の断面を確認するために断ち割りました。石組みの状態がよく分かります。図に記録した後、石を取り外しながらさらに掘り下げていきました。（南西から）



上の写真からさらに1mほど掘るとしだいに水が湧いてきました。排水ポンプで水を抜いていきます。井戸は大人が一人やっと入れるくらいの大きさです。（井戸の上から）



ようやく井戸の底に到達しました。湧いた水を溜めるため丸太をくりぬいたものが据えてあります。湧き水は透明でとても冷たかったです。（南東から）



井戸の深さはおよそ3mほどでした。（南西から）

今回見つけた井戸では、石組みの井戸枠を設け、丸太をくりぬいた水溜めを据え付けていました。このような井戸は、中世では一般的なものですが、南伊勢地域ではまだ類例が少なく、貴重な事例といえます。

野添地区は宮川に面していますが集落や耕地をうるおす水流は乏しく、江戸時代は水不足に非常に苦しんだという記録が残っています。中世においても井戸水は生命を維持するための大切な資源だったことでしょう。しかし、深い穴を掘ったり、石を積んだりという作業はかなり労力を要するものです。この井戸を見ていて、水を得るために努力した人々の思いが伝わってくる思いがしました。

<問い合わせ先>

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

三重県埋蔵文化財センター調査研究1課

担当者：櫻井・伊藤 亘

電話番号：0596-52-1732/FAX：0596-52-7035

E-mail：maibun@pref.mie.jp